

# 令和3年度 大阪府流域下水道事業会計 決算の概要

## 事業概要・トピックス

- ・平成30年度より地方公営企業法を適用。
- ・業務量・・・年間総流入水量714,267千m<sup>3</sup>、日平均流入水量1,957千m<sup>3</sup>  
7流域12処理区(処理場14箇所、ポンプ場32箇所、管渠延長約568km)

・令和2年度決算と同じく、減価償却費に対する営業収益が不足していることから令和3年度においても経常損失を計上。

## 損益の状況 ※消費税及び地方消費税を除く

	金額	内容
収益	613億1,498万円	維持管理負担金、他会計補助金、長期前受金戻入等
費用	636億1,940万円	管渠・ポンプ場・処理場費、減価償却費等
経常損失	23億0,442万円	R2決算:18億6,918万円

## 減価償却費負担額

減価償却費	356億8,934万円
資産減耗費	13億7,007万円
長期前受金戻入	▲296億9,660万円
支払い利息等	10億5,957万円
計	84億2,238万円
負担額(私費3割)	25億2,671万円
※R2	26億 371万円

## 財務諸表

### I. 損益計算書

営業費用	営業収益
623億5,467万円	223億1,228万円
管渠・ポンプ場・処理場費 244億9,730万円	維持管理負担金、他会計補助金 85億2,349万円
減価償却費 356億8,934万円	長期前受金戻入 296億9,660万円
資産減耗費 13億7,007万円	その他 7億8,261万円
その他 2億9,796万円	
支払利息等 10億5,957万円	
その他 2億516万円	
営業外費用 12億6,473万円	営業外収益 390億270万円
	経常損失 23億442万円

### II. 貸借対照表

固定資産 1兆323億1,344万円	固定負債 1,553億9,995万円 (うち企業債 1,491億2,250万円)
	流動負債 290億8,288万円
	繰延収益 5,974億8,451万円
	資本金等 2,683億5,371万円
流動資産 180億761万円	

### 経常損失の内訳

- ①減価償却費に対する収益不足額 【▲25.3億円】
  - ②維持管理負担金におけるR2精算返納金(R3支出)とR3精算返納金(R4支出のためR3は収益扱い)の差額 【▲2.9億円】
  - ③他会計補助金の不用額がR4返納のため、収益として計上 【2.3億円】
  - ④売電事業収入のうち、4条支出充当分(パネルリース料)を収益として計上 【3.1億円】
  - ⑤その他支出等 【▲0.2億円】
- 経常損失 23.0億円

### III. キャッシュフロー計算書

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	▲23億443万円
減価償却費	356億8,934万円
資産減耗費	13億7,007万円
長期前受金戻入	▲296億9,660万円
各種引当金の増減額	3,471万円
受取利息及び配当金	▲366万円
支払利息及び企業債取扱諸費	10億5,957万円
未収金の増減額	▲3億7,560万円
未払金の増減額	▲8億5,316万円
その他	2億4,016万円
小計	51億6,040万円
利息等の支払額	▲22億2,375万円
業務活動によるキャッシュ・フロー	29億3,665万円

2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲219億7,377万円
国庫補助金等による収入	180億3,502万円
流域下水道事業減価基金組入による支出	▲60億5,325万円
流域下水道事業減価基金繰入による収入	42億6,838万円
その他	▲1,468万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲57億3,830万円

3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	127億100万円
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	▲159億4,136万円
一般会計からの出資による収入	53億8,874万円
リース債務の返済による支出	▲3億1,376万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	18億3,462万円

資金増減額	▲9億6,703万円
-------	------------

## 資本的収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含む

	金額	内容
収入	382億5,195万円	国庫補助金、建設負担金、企業債等
支出	463億1,229万円	流域下水道建設事業費、企業債償還金等
収支差	80億6,034万円	(不足額は、損益勘定留保資金等で補てん)

建設改良費 243億210万円	企業債 127億100万円	5ヵ翌年度繰越額 9億4,600万円
	出資金 53億8,874万円	5ヵ翌年度繰越額 818万円
企業債償還金 159億4,136万円	国庫補助金 126億5,998万円	
	負担金 49億3,124万円	5ヵ翌年度繰越額 17億2,450万円
	受託金 9億8,130万円	
	基金繰入金 42億6,838万円	
基金組入金 60億5,325万円		
国庫返納金 552万円		
建設負担金返還金 1,007万円		
		→資本的収支 不足額 80億6,034万円 (翌年度繰越額を除く)

## 企業債残高

	R2	R3	備考
企業債残高	1,679億1,756万円	1,646億7,720万円	

## 前年度決算との比較 (主なもの)

項目	R2	R3	前年比	要因
管渠・ポンプ場・処理場費	234.7億	245.0億	104.4%	動力費、修繕費、精算返納金等の増によるもの
支払い利息等	13.1億	10.6億	80.9%	利率の低下によるもの
資産減耗費	8.0億	13.7億	171.2%	除却対象資産の増によるもの
他会計補助金	87.2億	85.2億	97.7%	支払い利息等の減によるもの
雑収益	0.352億	0.079億	22.4%	移設補償費の減等によるもの
経常損失	18.7億	23.0億	123.0%	精算返納金の増、他会計補助金の不用額の減によるもの
建設改良費	207.9億	243.0億	116.9%	経営戦略を踏まえた事業計画によるもの
企業債償還金	185.3億	159.4億	86.0%	満期償還分(市場公募債)の減
他会計出資金	53.4億	53.9億	100.9%	資本費平準化債の減によるもの